

1 開催日時：平成25年4月11日（木）14：00～15：15

2 会場：総合福祉保健センター 4階 研修室

3 出席者：①委員 13名

菅野会長、林副会長、豊田副会長、高橋委員、古瀬委員、片平委員、
遠藤委員、有山委員、五十嵐委員、川上委員、川崎委員、井手委員、
岡本委員

②事務局 3名

小金谷クリーン推進課長、吉松クリーン推進課長補佐、五十嵐

4 会議

会議に先立ち、事務局職員の異動について報告し、小金谷クリーン推進課長、五十嵐主事より挨拶。

ボーイスカウト第1団の委員の変更があったため、高橋委員へ委嘱状を交付。

議事録署名人の選出：名簿順により川上委員、川崎委員を選出。

その後、第1回協議会を開催。

会長を議長として議事進行。

(1) 平成24年度事業報告及び(2) 平成24年度収支決算について

事務局より平成24年度の事業報告、収支決算を、資料1・2のとおり報告。

会長：ただいま事務局よりご説明がありました。何かご意見ご質問等がありますか。

委員：環境美化運動関係費のところで、ごみ袋は何枚購入したのか。

事務局：可燃12,000枚、プラ11,000枚、不燃8,000枚です。

会長：弁当代、手袋代、タオル代、お茶代はごみを回収してくださるボランティアの方々のものか。

事務局：その通りです。

委員：環境美化運動で、ごみが収集されているのを見たが、トラックに少ししか積んでいないようであった。台数を減らす等は考えられないか。

事務局：回収の方々はボランティアでやっただいていて、使用車両についてはお任せしている状況です。ただし、本協議会からの意見とのことで申し上げることはできません。

委員：キャンペーンにおけるカンの穴あけとはどういったものか。

事務局：市のごみの分別においては、カセットガスボンベやスプレー缶は使い切った後に穴を開けてから排出するようになっております。その際に使用する器具をキャンペーンにおいて配布いたしました。

→異議なく承認される。

(3) 平成25年度事業計画(案)及び(4) 平成25年度収支予算(案)について

事務局より平成25年度の事業計画(案)、収支予算(案)を資料3、4のとおり説明。

会 長：ただいま事務局よりご説明がありました。何かご意見ご質問等がありますか。

委 員：リサイクルフェア売上金の試算はどうしているのか。

事務局：徐々にいただける傘の本数が減ってきている状況があり、本年度も何本いただけるかわかりません。家具についても同様の状況です。
そのため、雑収入等の額から全体の収入に合わせて予算案として作成させていただきました。

委 員：リサイクルフェアについてはどう考えているのか。

事務局：実施したいという思いはありますが、委員の皆さまの意見をいただきながら決めていきたいと思えます。

例えば、以前は市役所の1階で単独で実施していたこともありますし、市民まつりへ出店する等も考えられます。

委 員：出店できるのかどうかを聞いているのか。

事務局：まだ、詳細については聞いておりません。

会 長：市民まつりは10月12日に開催予定として進行中であるが、出店についてはできるのかどうか今のところわからない。

委 員：市民まつり(夏まつり)に今まで関わってきているが、出店料さえ支払えば商品の販売での出店については問題ないと思う。

会 長：市民まつりが煮詰まってきたらまた話し合うこととしたい。

委 員：路面標示についてはいくらくらいかかるのか。

事務局：当初設置時には1枚10,000円程度ものを10枚設置しましたので100,000円程度かかりました。その費用を参考としています。

委 員：そうすると、費用を考えるとキャンペーンではカンの穴あけのようなものではなく、またティッシュを配るようになるのか。

事務局：ティッシュについては委員の皆さまからご意見をいただき、選択肢からは外しており、ウェットティッシュに変える等、アイデアを出しながら検討してまいります。

→異議なく承認される。

(5) その他（環境美化運動について）

事務局より環境美化運動に関する今後の予定について説明。

事務局：今年度については同日、商工会主催のダンスのイベントが開催されるという情報が入っております。そのため、正面玄関ではなく、市役所1階の市民ホールで出陣式を行う予定で考えております。

また、ボランティア団体が使用する駐車場については確保しております。

委 員：(チラシについて) 環境美化運動で使うごみ袋について、燃やすごみとプラスチック系ごみの袋に「環境美化対策推進協議会」と入っていないのはなぜか。

事務局：以前は燃やすごみもプラスチック系ごみも環境美化運動用の「環境美化対策推進協議会」と入ったごみ袋がありましたが、余った際に家庭用の市指定袋としては使えないため、市指定袋へと変えた経緯があります。

委 員：市指定袋に「環境美化対策推進協議会」と入れられないか。

事務局：入れるのには新たに版代が発生するため費用がかかってしまいます。

委 員：市指定袋に自連協の名前が入っているが、実物もそうなのか。

(事務局が実物を取りに向かう)

事務局：現在の市指定袋ですが、自連協の名前は入っております。

委員：自連協の名前については、以前ごみの分別について自連協が絡んでいたということもある。

会長：環境美化運動を主導しているのはどこなのか。

事務局：環境美化対策推進協議会です。

会長：袋等については自連協にも話をしておく。

今年度については現在の袋を使用することとしたい。

→その他異議なく承認される。

その他（リサイクルフェアについて）

事務局：第2回会議にて皆さまのご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

→その他異議なく承認される。

会長：委員の皆さま、全般としてなにかご意見はありますか。

委員：(環境美化運動の際)うちの周辺はごみがほとんどなく、雑草等を集めているが構わないか。

事務局：道路上の雑草ということであれば構いません。

委員：自宅の前に竹藪があってごみが捨てられているが、どうしたらいいか。

事務局：クリーン推進課としては、民有地への不法投棄については条例第37条(鎌ヶ谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第37条)にて当該土地所有者が投棄物を撤去することとなっているため、現場を確認し、土地所有者を調査して文書にて指導しております。

現場をお伝えいただければ指導いたしますので、会議後、クリーン推進課までお越しください。

その他特になく閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するために次に署名する。

平成25年 4月18日

氏名 川上 英明

氏名 川崎 幸子